

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	【災害対策】 昨年9月の開所に機器の説明をしたのみで、消防訓練、災害訓練が行えていない。	年2回の消防訓練の実施 (内1回は、総合訓練の実施)	6月に夜間想定消防訓練を実施予定 (本部スタッフ、近隣の方参加しての総合訓練) ひょうご防災特別推進員の派遣を依頼する。	12ヶ月
2	1	【理念の共有と実践】 本部尚紫会としては理念があり、提示しているがグループホーム独自の理念がない。	7月までにグループホーム独自の理念を掲げる	5月より各スタッフの意見を提出、聞いていく。 5月、6月のスタッフ会議で検討していき、7月に掲げる予定。	3ヶ月
3	26	【チームで作る介護計画とモニタリング】 介護計画書が不十分である為、モニタリングを通して再検討する必要がある。介護計画書について、理解、認識できていないスタッフも多い。	モニタリングを通し、介護計画書の再検討をおこなっていく。 全スタッフが、介護計画書の意味を理解し、日々の利用者のケアが計画書の沿って行えるようにしていく	介護計画書についての研修を実施する。 5月のスタッフ会議において第一回目の研修を実施する。各利用者の介護計画書について、モニタリングを通し検討・勉強しスタッフ会議をとおして進めて行く。	12ヶ月
4	49	【日常的な外出支援】 元気な方は外出できているが、歩行に付き添いが必要な方、閉じこもりがちな方は適っていない。	天候がいい日は利用者全員が、少しでも外気に触れる様にする。(ベランダ、散歩、外出等)元気な方は、月一回は外出できるようにする。	天候のいい日は、全員が一日一回はベランダへ出る。(閉じこもりがちな方はトイレへ行ったついでに、少しでも出れるようにしていく) 畑、花作りを進めて行く。月一回の外出が適うよう外食、喫茶、散歩等の企画をしていく	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。